

戦前家政学関係文献一覧

—不十分な記載と誤りの補足訂正—

A List of Literature on Home Economics before World War II
—Supplement or Revision of Unsatisfactory or Mistaken Bibliographic Notes—

倉元綾子・佐々木和子*¹・水島かな江*²
井上えり子*³・永藤清子*⁴・朴木佳緒留*⁵

Ayako KURAMOTO, Kazuko SASAKI*¹, Kanae MIZUSHIMA*²,
Eriko INOUE*³, Kiyoko EITOH*⁴ and Kaoru HOUNOKI*⁵

We confirmed the bibliographic notes of literature on "home economics, home life and history of life", "economics of home", "family, home and marriage" and "home science" before World War II. The literature were picked up from "KASEIGAKU-SEIRITSU-SHI" written by TUNEMI and 25 books on philosophy of home economics.

The results were as follows:

- (1) 82%, 314 literature of 382 objects were confirmed.
- (2) 91% of 382 objects had some unsatisfactory or mistaken notes. 85% of publishers, 33% of published year, 24% of title and 5% of editors or authors, had the unsatisfactory or mistaken notes.
- (3) 189 literature which had the unsatisfactory or mistaken notes except publishers only, were listed with supplied or revised.

鹿児島県立短期大学 (Kagoshima Prefectural College, Kagoshima 890),

*¹ 兵庫県立西宮北高等学校 (Nishinomiya-kita High School, Nishinomiya 662),

*² 松蔭女子学院短期大学 (Shoin Women's College, Nada-ku, Kobe 657),

*³ 神戸学院女子高等学校 (Kobe Gakuin Girls' High School, Hyogo-ku, Kobe 652),

*⁴ 甲子園短期大学 (Koshien College, Nishinomiya 663),

*⁵ 神戸大学発達科学部 (Faculty of Human Development, Kobe University, Nada-ku, Kobe 657)

Keywords

家政学史, 書誌事項, 文献調査, 常見育男, 家政学原論

history of home economics, bibliographic notes, review of literature, TUNEMI Ikuo, philosophy of home economics

はじめに

戦前家政教育を源流としながら、戦後あらたに出発した家政学をめぐる状況は、戦後50年をへた今日大きく変化してきている。大学、短期大学によってさまざまに異なる事情はあるが、あいつぐ家政学部、家政学科の生活科学部等への名称変更がおこなわれてきている。中学校、高等学校においては家庭科の男女共学が全面的に実施されるようになった。また、家庭生活においても高齢化、情報化、国際化、社会化、個別化などがすすみつつある。

こういったなかで、家政学が新しい展開をめざすためには、これまで家政学が果たしてきた役割についての歴史的な検討が重要な課題のひとつとなっている。筆者らは、家政学が人びとの生活にどのようにアプローチしてきたのかを知る手がかりとして、戦前家政学の重要文献の検索と分析を試みた。しかし、家政学史の重要文献とされている常見著『家政学成立史』¹⁾ (以下、常見『成立史』と表す) においてとりあげられている家政学関係文献と、戦後出版された代表的家政学原論関係書でとりあげられているものとは異なっている場合が多くあった。また、複数の家政学原論関係書でとりあげられている文献についても常見『成立史』や家政学原論関係書の間に刊行年、書名、出版社などの書誌事項の記載に食い違いや不十分な点が数多く見られた。

そこで、これらを整理し、さらにとりあげられている戦前家政学関係文献の現物にあたって、刊行年、書名、出版社を確認した。その結果、多くの補足訂正すべき事項があることが明らかになった。これらをもとに、不十分な記載や誤りがあったものを補足訂正し、一覧を作成した。ここに、それを報告し、今後の家政学史研究の資料としたい。

なお、ここでは上述のように家政学の生活へのアプローチのしかたを中心的な課題としたことと、家政学研究にとっての学説面からの検討に有益な資料を作成したいと考えたので、「家政学、家庭生活、生活史」、「家庭経済」、「家庭、家族、婚姻」、「家庭科学」の領域 (以下、家政学等と表す) に限って報告する。ここでの領域区分は、常見『成立史』の第7章家政学関係文献目録の領域区分をもとにした*。

残る「衣服、衣服史、織物、材料、洗濯、染色」、「食物、食物史、栄養料理²⁾」、「住居、住宅史」および「教育及びその他」の領域 (以下、衣食住等と表す) は別途報告した²⁾。

*この領域区分は、家政学が今日一般に「家政学原論」、「家族関係」、「家庭経営」、「家政教育」、「食物」、「被服」、「住居」、「児童」(日本家政学会編『家政学事典』朝倉書店(1990))などと区分されているのとは異なっている。また、家政学関係文献の各領域への振り分けは常見の判断によっている。したがって、これらについての検討は避けることができないが、今後の課題としたい。

方法

対象とした家政学関係文献は、常見『成立史』がとりあげている明治初年（1868年）から昭和20年（1945）までの文献のうち、家政学等の領域のすべての文献335をもとにした。さらに、この時期の家政学についての歴史的叙述があった家政学原論関係書25冊（表1）でとりあげられている家政学関係文献の家政学等の領域のものを照合し、47を追加した。こうして、合計382文献を対象とした。

次に、これらの文献の刊行年、書名、出版社などに関する記載を、常見『成立史』および家政学原論関係書から拾いあげ整理し、家政学関係文献に関する不十分な記載や食い違いを検討した。

そしてさらに、現物にあたって家政学関係文献の刊行年、書名、出版社などについての確認をおこなった。

作業は主として、国立国会図書館、大阪府立中之島図書館、神戸市立中央図書館、奈良女子大学附属図書館、神戸大学発達科学部附属図書館、武庫川女子大学附属図書館、松蔭女子学院大学附属図書館、湊川女子短期大学附属図書館、お茶の水女子大学附属図書館、日本女子大学附属図書館、東京家政学院大学附属図書館でおこなった。

表1 検討した家政学原論関係書

略号	年	編著者	書名	出版社	執筆担当者
&	1971	常見育男	『家政学成立史』	光生館	
A	1954	松平友子	『家政学原論』	高陵社	
B	1955	稲垣長典編	『家政学読本』	東洋経済新報社	
C	1962	黒川喜太郎	『新版家政学原論』	光生館	
D	1967	黒川喜太郎	『改訂新版家政学原論』	光生館	
E	1968	松平友子	『松平家政学原論』	光生館	
F	1969	道喜美代、渡辺ミチ	『家政学』	有斐閣	常見育男
G	1970	柳原文一、原田一、松島千代野	『家政学原論』	学文社	
H	1971	山本椿一	『家庭科学論THE SPIRIT OF HOME ECONOMICS』	同文書院	
I	1976	嶋田英男	『家政学原論要説』	家政教育社	
J	1976	原田一	『家政学の根本問題』	家政教育社	
K	1976	平田昌、松崎ナツ	『講義家政学原論』	中教出版	
L	1979	堀田剛吉、今井光映	『テキストブック家政学』	有斐閣	亀高京子、久武綾子
M	1981	藤本満子	『家政学序説』	昭和堂	
N	1981	亀高京子、仙波千代	『家政学原論』	光生館	亀高京子
O	1981	横山光子、大森和子、末広和子、亀高京子	『新版家政学原論・家庭経営』	朝倉書店	亀高京子
P	1984	住田和子、有馬澄子、能沢幸子	『図説家政学』	建帛社	
Q	1985	原田一	『家政学入門』	家政教育社	
R	1986	宮崎礼子、若山浩司、伊藤セツ	『家政学理論』	有斐閣	居城舜子
S	1986	林雅子、石毛フミ子、松島千代野	『新家政学』	有斐閣	亀高京子
T	1986	家政学方法論研究会	『ホーム・エコノミクスー新家政学概論ー』	ドメス出版	大森和子、伊藤セツ
U	1987	松島千代野	『家政学原論集成』	学文社	
V	1987	大鹿淳子、中川眸、山田光江、藤本満子、大久保克子、善積京子	『ホームエコノミクスと女性』	昭和堂	中川眸
W	1990	日本家政学会	『家政学シリーズ1 家政学原論』	朝倉書店	松岡明子
X	1990	好本照子、福田はぎの	『家政学概論』	朝倉書店	好本照子
Y	1990	日本家政学会	『家政学事典』	朝倉書店	石川寛子、川上雅子

注) 左端に記載してある略号は一覧(表2)のA～Yに対応している。常見『成立史』を除くA～Yは便宜上刊行年順に並べた。

結果および考察

1. 不十分な記載および誤り

対象とした382文献のなかの不十分な記載や食い違いはおびただしかった。その例としては次のようなものがあった。

C.E.ピーチャル, H.B.ストウ著, 海老名晋訳『家事要法』(有隣堂, 1881年)のように常見『成立史』においては刊行年が1876年とも1881年とも記されており, このほかに1882年と記しているものがあるというようなもの, 瓜生寅著『通信教授女子家政学』(通信講学会, 1886年)のように常見『成立史』の本文の見出し, 第7章家政学関係文献目録および索引には『女子家政学』と書かれながら, 本文の地の文, 見開きの写真および本文中の写真図版から『通信教授女子家政学』と記載する方が適切と考えられるというようなもの, 下田歌子著『家政学』(博文館, 1893年)のように常見『成立史』や多くの家政学原論関係書において, その出版社が記載されておらず, わずかに原田著『家政学の根本問題』や堀田ら編『テキストブック家政学』(亀高述)などに記されているというようなものなどが明らかになった。

そこで, これらの文献の刊行年, 書名, 出版社などの確認をおこなったところ, 対象とした382文献のうち, 82.2%, 314文献を確認することができた。

その結果, 不十分な記載や誤りがあり, 補足訂正を要するものは, 対象とした382文献の91%におよんだ(衣食住等を含む全体では92%)。

最も多かったのは出版社名の不十分な記載で, 85%であった(全体では88%)。これには下田歌子著『家政学講義附女子教育講話』(北海道教育会, 1901年), 下田歌子, 北海道教育会編『同』(富山房, 1902年)のようなものがあり, 書名が同一であっても編著者や刊行年が異なっているとき, 文献を特定することを困難にした。この出版社を記載しない傾向が何に由来するものであるかは不明であるが, 常見『成立史』および家政学原論関係書に全般的に見られる傾向であった。

出版社名の記載が一般的に不十分であるという傾向がみられたので, それらを除いて不十分な記載や誤りがあったものについて検討するとその割合は49%, 189文献となり(全体では48%), 文献の約半数になおなんらかの問題があることが明らかになった。

そのうち, 刊行年では33%に不十分な記載や誤りがみられた(全体では32%)。

刊行年におけるその代表的なものには, 1907年刊行の石沢吉磨著『家事応用理化学』(晴光館)があげられる。『家事応用理化学』は多数の家政学原論関係書で引用されているにもかかわらず, 1918年の刊行と記しているものが少なくなかった。刊行年の誤りのなかには, 西暦年と元号の混乱などから生じたと考えられるものもあり, 今日においても特に注意を要するところである。

書名では24%に不十分な記載や誤りがみられた(全体では22%)。書名には省略して記載されているものが多い。前述した『通信教授女子家政学』のほか, チェンバース著, 永田健介訳『百科全書家事儉約訓』(文部省編輯局, 1874年)が『家事儉約訓』に, 近藤耕蔵著『日用化学講義』(光風館, 1910年)が『日用化学』に, 大江スミ子著『応用家事精義第一巻緒論住居』(宝文館,

1916年)が『応用家事精義』に、甲斐久子著『生活改善系統的家政講話』(平凡社, 1924年)が『系統的家政講話』になど、多くの例がみられる。これも、文献の特定に不都合を生じる原因である。今回筆者らが各図書館で確認をおこなうことを難しくした一因でもあった。

編著者では5%に不十分な記載や誤りがみられた(全体では6%)。

一方、不十分な記載や誤りが領域によって異なる傾向をみせることはなかった。また、刊行年がくだるにつれて不十分な記載や誤りが幾分少なくなる傾向がみられた。

そして、先の『家事応用理化学』や『生活改善系統的家政講話』のように、多く引用されているながら、不十分な記載や誤りがひきつがれ、訂正されない場合は少なくなかった。

以上のように、常見『成立史』をはじめ家政学原論関係書中の戦前家政学文献に関する書誌事項にはきわめて多くの不十分な記載や誤りがあることが明らかになった。これらは、論文等の引用の仕方の原則が十分に確立していなかったという、これまでの家政学における時代的制約も考慮して検討されなければならないだろう。しかし、現物にあたって確認するという初歩的な作業が十分でなかったことは克服されなければならない。それが、今後の家政学史および家政学研究における実証性を高めるものと思われる。

2. 戦前家政学関係文献一覧

戦前家政学関係文献一覧(表2)には、対象とした382文献のうち、不十分な記載や誤りがあったもので出版社だけに問題があったものを除く189文献、49%に関する事項を補足訂正して刊行年順に示した。

ここで、出版社だけに不十分な記載や誤りがあったものを除いたのは、その割合が多く、一覧の分量が膨大となることによる。また、本報告は食い違いや誤りの分析を目的としており、このような例の数の多さを強調することを目的としていないからである*。

次に、一覧の各項目について述べる。

一覧の「分類」項目における数値は1「家政学, 家庭生活, 生活史」, 2「家庭経済」, 3「家庭, 家族, 婚姻」, 4「家庭科学」である。「#」の項に印のあるものは常見『成立史』がとりあげていない文献であることを、「*」の項に印のあるものは現物の確認ができていないものであることを示している。「編著者」, 「書名」, 「出版社」はそれぞれの事項を示している。「ミス」は不十分な記載や誤りについての項目で、Aは編著者に、Nは書名に、Pは出版社に、Yは刊行年にそれぞれ不十分な記載や誤りがあったものである。「メモ」欄の①には常見『成立史』(「&」印で示す)および家政学原論関係書(A~Yの略号で示す, 表1参照)での不十分な記載や誤りなどを、②には文献に関して参考となる事項を記した。「引用」は常見『成立史』を除く家政学原論

*ここで対象とした382の戦前家政学関係文献の刊行年, 編著者, 書名, 出版社についての年表は別途準備中である。

関係書で引用があった回数を示している。「A」～「Y」は家政学原論関係書の略号で、その文献が引用されていた場合に略号を記した。

要約

以上のように戦前家政学史における「家政学、家庭生活、生活史」、「家庭経済」、「家庭、家族、婚姻」、「家庭科学」領域の文献について現物にあたって、刊行年、書名、出版社などを確認した。対象としたのは常見『成立史』および25冊の家政学原論関係書から拾いあげた家政学等の領域のすべての戦前家政学関係文献382である。その結果は、以下のように要約できる。

- (1) 対象とした382文献のうち、確認できたものは82.2%、314文献であった。
- (2) 382文献のうち、不十分な記載や誤りが見られるものは91%におよんだ。出版社では85%、刊行年では33%、書名では24%、編著者では5%に不十分な記載や誤りがあった。
- (3) 不十分な記載や誤りがあったもののうち出版社だけに問題があったものを除く189文献、49%について、補足訂正をおこない、一覧を作成した。

上述のように戦前家政学関係文献の刊行年、編著者、書名、出版社などを確認し、家政学史研究のための一覧を資料として作成することができた。

しかし、本報告は戦前家政学史研究の初歩的な資料にとどまるものであって、残された課題は多い。まず第一にあげられることは、家政学の各領域における教育と研究の歴史的検討である。家政学史はともすれば家政学原論、家庭経営の領域からのみ論じられがちであった。家庭生活をめぐる種々の変化がみられ、家政学部が生活科学部等への名称変更をおこないつつある今日、これまでの家政学および戦前家政学がどのような役割をはたしてきたかについて判断する材料が提供されなければならない。しかし、現状をみる限りにおいて、それはまだ十分とはいえない*。各領域からの具体的で、豊かな歴史研究がいっそう必要になっていることを指摘しておきたい。

また、前述のように文献のうちには未だ確認ができていないものが少なくない。多くの方々からのご教示、ご協力を強く願うものである。

さいごに、本報告は別途報告する家政学等の年表、先に公表した衣食住等の年表および一覧を参照していただければ、より全体的なものとなるであろう。

*わずかに、単行本として常見『家庭科教育史増補版』（光生館、1972年）、朴木・鈴木編『資料からみる戦後家庭科のあゆみ』（学術図書出版社、1990年）が、論文としては家庭科教育史を除いては「家庭管理学（論）の系譜」（宮崎・伊藤編『家庭管理論（新版）』有斐閣、1989年、pp.241-281）、阿部「家庭経営学の歴史」（日本家政学会編『家政学事典』朝倉書店、1990年、pp.172-174）、江原・石川「家事教科書からみた調理教育の史的研究（その1）（その2）」（家政誌、35[10]、pp.726-735（1984）、37[1]、pp.67-75（1986））がみられる程度である。

謝辞

本報告作成にあたり，国立国会図書館，大阪府立中之島図書館，神戸市立中央図書館，奈良女子大学附属図書館，神戸大学発達科学部附属図書館，武庫川女子大学附属図書館，松蔭女子学院大学附属図書館，湊川女子短期大学附属図書館，お茶の水女子大学附属図書館，日本女子大学附属図書館，東京家政学院大学附属図書館をはじめ，多くの図書館の方々には快く文献を閲覧させていただき，大変お世話になりました。記して深く感謝いたします。

引用文献

- 1) 常見育男：家政学成立史，光生館，東京（1971）。
- 2) 倉元綾子，水島かな江，佐々木和子，井上えり子，永藤清子，朴木佳緒留：戦前家政学関係文献一覧－1868－1945，衣服，食物，住居，家庭科教育－，湊川女子短期大学紀要，No.27，41－60（1994）。

表2 戦前家政学関係文献一覧

クラス	刊行年	#	* 編著者	書名	出版社	ミス
1	1868	M1	* 大日本国民専用有益大全	『家治心得』		PY
1	1872	M5	# 福沢諭吉	『学問のすゝめ』		NP
1	1873	M6	# 鈴木良輔訳	『養生新編』巻1-4	尚古堂	NY
1	1873	M6	# コーミング著, 上篇横瀬文彦, 阿部弘国訳, 下篇, 東生寅次郎ら訳	『西洋養生論』	弘通書房	NY
1	1874	M7	エフ.エッチゲッセル, 村田文夫訳	『絵入子供育草』	玉山堂(岩浪長蔵)	NP
1	1874	M7	(チェンバース著), 永田健助訳, 長川新吾校	『百科全書家事儉約訓』	文部省編輯局	N
1	1874	M7	# 瓜生寅訳著	『啓蒙知慧之環』	和泉屋吉兵衛	A
1	1874	M7	# 高田義甫	『女賢必読女訓一名一新女大学』	協力舎	N
1	1875	M8	ハスケル(チェストル・フィールド)著, 永峯秀樹訳述	『智氏家訓』	種玉堂(柳原喜兵衛)	PY
4	1876	M9	バイヘンリー・チャース, 沢田俊三訳, 小野一郎校, 松本順閲	『智巴士氏育児小言』初篇一, 二	気海楼(山中市兵衛, 島村利助)	NP
1	1878	M11	# * 不明	『小学口授養生談』		AP
2	1878	M11	嗜餅散人	『家内の儉約』	思誠堂(望月誠)	AY
2	1878	M11	中野了随	『女房の不経済』	思誠堂	PY
1	1879	M12	(ランレル著), 小田深蔵記述	『女範』	小田深蔵	PY
1	1879	M12	望月誠	『家の治めかた 一名安楽のたね』	望月誠	NP
2	1879	M12	エッグリントン, 林茂雄訳	『生計秘訣一名世帯道志るべ』	耕文舎(山中市兵衛等)	NP
1	1880	M13	ダツレー	『育幼艸』	福音社	N
1	1880	M13	望月誠編	『実地経験家政妙論』	思誠堂	N
1	1881	M14	C.E.ビーチャル, H.B.ストウ著, 海老名晋訳	『家事要法』	有隣堂	PY
2	1881	M14	青木清輔編述, 羽山尚徳校正	『家事経済訓』	同盟舎	NP
3	1881	M14	貝原益軒編	『訂正家道訓』	山中市兵衛	NP
1	1883	M16	根村熊五郎, 有信斎主人編	『女房の義務 附夫婦不和を生ずる原因』	望月誠刊	PY
1	1883	M16	斎藤捨蔵	『齐家新論』	斎藤捨蔵	Y
2	1883	M16	# 日下部三之介編, 川島浩閲	『小学家事経済訓蒙』	金港堂	N
1	1885	M18	文部省報告局訳	『技芸-係ル英国調査委員報告』第1報告		ANY
1	1886	M19	文部省総務局訳	『技芸-係ル英国調査委員報告』第2報告(1,2,3,5巻)		ANY
1	1886	M19	瓜生寅	『通信教授女子家政学』	通信講学会	PY
1	1889	M22	* 栗塚竜女抄訳	『女子必携 一名家事経済』		PY
1	1889	M22	三島通良	『ははのつとめ 親の巻子の巻』	三島通良	NP
1	1889	M22	谷口政徳	『家庭教育女学校』	博文館	NPY
1	1889	M22	伊東洋二郎	『通俗経済絵入日用家事要法』	静観堂	N
2	1889	M22	石橋多喜郎	『家計簿記学』	博文館	NP
2	1890	M23	飯島平次郎	『博文館叢書第3回家事経済書』	博文館	PY
1	1893	M26	下田歌子	『家政学』	博文館	PY
1	1893	M26	井上勝五郎	『新撰男女諸礼式大全』	薫志堂	NP
1	1893	M26	飯島半十郎	『(通俗教育全書第77編)家事経済書』	博文館	APY
1	1894	M27	民友社	『家政整理』	民友社	NP
1	1894	M27	寒沢振作	『家政之菜』	博文館	NP
1	1895	M28	国分操子編	『貴方の菜(日用宝鑑)』	大倉書店	PY
1	1895	M28	大月隆編	『吾家の憲法』	開新堂	NP
1	1895	M28	大橋又太郎編	『家政案内(日用百科全書第4編)』	博文館	APY
1	1895	M28	島田慎二郎	『家政統計簿』	島田慎二郎	AP
2	1895	M28	島田慎二郎	『家政統計簿』	島田慎二郎	AP
1	1898	M31	下田歌子	『婦女家庭訓』	博文館	PY

倉元・佐々木・水島・井上・永藤・朴木：戦前家政学関係文献一覧

メモ	引用	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
①&年不詳,大日本国民有益大全,出版社ナシ	0																									
①&『学問のすすめ』,出版社ナシ	1																P									
①D新論,新訓,1800年代,年ナシ,②英国外科大学校教頭未ヒ曾児氏著,紀元2533年7月	1				D																					
①D養生論,年ナシ,コミング著,上篇横瀬文彦,阿部弘国訳,下篇,東生寅次郎ら訳,②上下,家政学文献集成続16	1				D																					
①&『子供そたて草』,出版社ナシ,D年ナシ,②M.7年1月序,汪口樓	1				D																					
①&GJPQUW家事倭約訓,文部省,D年ナシ,文部省,Jチェンバース,P永田訳(英),Q永田健助,U1874,②文部省	14	A	C	D	E	G				J	L	N	O	P	Q						U	W	Y			
①D3巻,著者名ナシ	1				D																					
①NO女鬢必読女訓,②明治7年2月序,家政学文献集成続16	3																									Y
①&1874,出版社ナシ,D永峰訳,年ナシ,E前3冊1874,後2冊1876,②上中下,家政学文献集成続10	2				D	E																				
①&『智巳土氏…』,出版社ナシ,D沢田訳,育児小言,年ナシ,②和2冊	1				D																					
①D著者名ナシ,出版社ナシ	1				D																					
①&1878,1880,九岐晰	0																									
①&1881,出版社ナシ	0																									
①&1880,1881,1885,ラレス,内地周吉,FW書名のみ,O全3冊,内地周吉(出版),②上中下,和,1880再版,家政学文献集成6	4																									Y
①&F治め方,&出版社ナシ,F書名のみ	2						F																			
①&しるべ,出版社ナシ,②家政学文献集成続16	0																									
①&育児草	0																									
①&家政妙論	1																									
①&1876,1881,上下,文部省編輯局,E1881,F1876,JNTXピーチャー,ストウ,H1882,N上下,文部省編集局,OX上下,Q原著者ナシ,T書名ナシ,V家事用法,②家政学文献集成続11	17	A					E	F	H	J	L	N	O	P	Q	S	T	U	V	W	X	Y				
①&NW家事経済,&出版社ナシ,F1女子経済学,②家政学文献集成続10	6						F	I																		W
①&『家道訓』,出版社ナシ,②和3冊,巻1-6,発行人:長嶋為一郎,松枝悦三郎,貝原篤信編,西村致忠訂正	0																									
①&1868,有信堂主人,有信齋主人,出版社ナシ	0																									
①&1882,1883	1																									U
①EU小学家事経済学,②巻上・下,和2冊,家政学文献集成続11	3						E																			W
①&1886,1889『技芸教育調査委員報告』,1889『技芸教育調査委員報告(2)』,文部省総務局訳	0																									
①&1886,1889『技芸教育調査委員報告』,1889『技芸教育調査委員報告(2)』,文部省総務局訳,②1886-1889刊	0																									
①&1889,上下,通信興学舎,CD01886,D瓜生編,女子経済学,FLU1889,I1889(1890版),FI「…世帯の学」,LNO「通信教授…」,O通信講学会普及会,明治19-22刊,第1-19合本,②1886-1889刊,第1-19合本,家政学文献集成続12,復刻家政学叢書1	9		C	D	F	I					L	M	N	O											U	
①&1882アメリカ,キッチン・ガ-デン社刊,著者不明,出版社ナシ,F1890,家事経済	1						F																			
①&ははのつとめ,出版社ナシ,②和2冊合本	0																									
①&女学校,1889,1890,出版社ナシ,②通俗教育全書第四編	0																									
①&日用家事要法,F日用家事用法,LNO通俗経済日用…,玉潤堂,LN1889,N洋二郎	4						F						L	N	O											
①&家計簿学,出版社ナシ,②内務省許可1889/12,印刷発行1894/4,通俗教育全書第99編	0																									
①&1893,出版社ナシ	0																									
①&1888,1893,出版社ナシ,E1888,EJBUWO上下,D上下,8月,L1893,博文館,②上下,和,家政学文献集成続13	15	B	C	D	E	F	G			I	J	L	N	O	P	Q									W	
①&男女諸式大全,出版社ナシ	0																									
①&半次郎,1894,出版社ナシ	0																									
①&『実務整理』?,出版社ナシ,②家庭叢書第7巻,家政学文献集成続13	0																									
①&家庭,出版社ナシ	0																									
①&1890,1895,出版社ナシ	0																									
①&我家,吾家之,出版社ナシ	0																									
①&岸上操,1909,出版社ナシ	0																									
①&慎三郎,出版社ナシ,②浅利村島根	0																									
①&慎三郎,出版社ナシ,②浅利村島根	0																									
①&1890,1896,出版社ナシ,②家庭文庫第5編	0																									

鹿兒島県立短期大学紀要 第45号 (1994)

クラス	刊行年	#	*	編著者	書名	出版社	ミス
1	1898	M31	#	福沢諭吉	『日本婦人論』『福沢全集』巻5	時事新報社	Y
1	1898	M31	#	後閑菊野,佐方鎮子	『家事教科書』	日黒書房,成美堂	PY
1	1899	M32		下田歌子	『家事要訣(家庭文庫第7編)』	博文館	PY
1	1900	M33		三浦智之	『実用家事経済学』	博文館	PY
1	1900	M33		下田歌子	『新撰家政学』	金港堂	PY
1	1901	M34		下田歌子	『泰西所見家庭教育』	博文館	NPY
1	1901	M34		堺枯川	『家庭の新風味』1-6	内外出版協会,言文社	PY
1	1901	M34		下田歌子	『家政学講義附女子教育講話』	北海道教育会	NPY
1	1901	M34		山田稲子,真能まさき	『実践家政法』	集英堂	AP
1	1902	M35		下田歌子,北海道教育会編	『家政学講義附女子教育講話』	富山房	NY
1	1902	M35		横山順	『料理の技析』	大阪浜本明昇堂	PY
1	1902	M35		後閑菊野,佐方鎮子	『家事提要』	日黒書房,成美堂	NP
1	1903	M36		福田滋次郎	『家庭顧問』	晴光館,北隆館	PY
3	1903	M36		松浦政泰編述	『女学叢書欧米名士の家庭』	女学叢書発行所	NP
1	1904	M37		後閑菊野子,大日本女学会編	『家事経済・家事管理』『婦人宝典巻2』	郁文舎,大阪積文社	NPY
1	1904	M37		大日本女学会編	『婦人宝典』	郁文舎,大阪積文社	PY
1	1904	M37		佐方鎮子,大日本女学会編	『女子修身・礼法』『婦人宝典巻1』	郁文舎,大阪積文社	PY
1	1904	M37		三輪田真佐子,大日本女学会編	『家庭教育』『婦人宝典巻1』	郁文舎,大阪積文社	PY
4	1904	M37	*	三宅秀,大日本女学会編	『家事衛生』『婦人宝典巻二』	郁文舎,大阪積文社	PY
1	1905	M38		近藤正一	『新撰家事問答』	博文館	NPY
1	1905	M38		村井玄斎	『実地体験台所重宝記』	報知社出版部	NPY
4	1906	M39		中村千代松編	『日本家庭節用(実験問答)』	博文館	PY
1	1907	M40		図師庄一郎	『家』	経営社	Y
1	1907	M40		天野誠斎	『台所改良(家庭宝典)』	博文館	NPY
4	1907	M40		石沢吉磨	『家事応用理化学』	晴光館	PY
1	1908	M41		嘉悦孝子	『家政学講話』	同文館	NP
1	1909	M42		吉田庫三編	『松陰先生女訓』	民友社	PY
1	1909	M42		家政学研究会編	『日用百科全書(経済重宝)』	博愛館	NP
4	1909	M42		工藤齊	『新編家庭の科学』	博文館	NPY
4	1910	M43		近藤耕蔵	『日用化学講義』	光風館	N
1	1911	M44		数枝女史立案	『家庭の憲法(経済衛生)』	求光閣	NPY
1	1911	M44		福田琴月	『衛生と衣食住』	博文館	PY
3	1911	M44		高島平三郎	『婦人と家庭』	敬文館	PY
3	1911	M44		河崎酔雨	『婚姻のかゞみ』	博文館	NP
4	1911	M44		一戸清方	『日用家庭理科(家庭百科全書第36編)』	博文館	PY
1	1912	M45		羽仁もと子	『女中訓』	婦人之友社	PY
1	1912	M45		下田歌子	『良妻と賢母(女子自修文庫第5編)』	富山房	NPY
2	1912	M45		添田寿一述,菊池暁汀編	『実用一家経済法』	大学館	NPY
2	1912	M45	#	後閑菊野・大山斐瑳磨	『家事経済学』	日黒書店,成美堂	APY
3	1913	T2		横山寿篤,岩本平太郎,豊原龍梧	『うるはしき家庭』	京都府教育会研究部	PY
1	1914	T3		市川源三	『農家の模範的経営』	育成会	PY
1	1914	T3		美島近一郎	『新撰実用家政学精義』	啓成社	NP
1	1915	T4		東郷尚武	『能率増進一家無駄省略法』	大学館	PY
1	1915	T4		下田歌子	『家庭』	実業之日本社	PY
1	1915	T4		棚橋絢子述,田中久編	『女らしく』	東亜堂書房	NPY
2	1915	T4		阪谷芳郎述	『実用家庭の経済』	大学館	NPY
4	1915	T4	#	亀高德平,野口長太郎	『家事適用理化学講話』	育英書院	ANPY
1	1916	T5		嘉悦孝子	『家政講話』	家庭文庫刊行会	PY
1	1916	T5		大江スミ子	『応用家事精義第一巻緒論住居』	宝文館	Y

鹿兒島県立短期大学紀要 第45号 (1994)

クラス	刊行年	#	*	編著者	書名	出版社	ミス
1	1916	T5		石沢吉磨	『家事教授法』	集成堂	PY
1	1916	T5		野口保興	『家事の新研究』(本義編・実務編)	成美堂, 目黒書店	NP
1	1916	T5	*	山松鶴吉	『家庭生活の準備』		AP
1	1917	T6		安部磯雄	『子供本位の家庭』	実業之日本社	PY
1	1917	T6		佐々木吉三郎	『家庭改良と家庭教育』	目黒書店	NP
1	1917	T6		鳩山春子・薫子	『嫁入文庫家政の巻』	実業之日本社	NPY
1	1917	T6		加藤常子	『嫁入文庫, 女中の使方の巻』	実業之日本社	NP
2	1917	T6		嘉悦孝子	『貯金の出来る経済の取り方 附上品な内職』	実業之日本社	NPY
4	1917	T6	#	近藤耕蔵	『日用物理学講義』	光風館	NY
4	1918	T7	#	越智キヨ, 原田隆校閱	『家庭看護法』	六盟社	PY
1	1919	T8		山脇玄	『是れからの生活』	泰山房	NPY
1	1919	T8	#	経済研究会	『科学的廃物活用法』	長久社書店	NPY
2	1919	T8		キング著, 柳田泉, 宮沢末男共訳	『生活費省減問題』	大日本文明協会	NP
3	1919	T8		河田嗣郎	『家族制度研究』	弘文堂書房	PY
1	1920	T9		高島平三郎	『家庭心理講話』	洛陽堂	PY
2	1921	T10		添田寿一	『改造経済生活』	弘学館	NPY
1	1922	T11		西村文則	『日本文化生活史』『文化史観と日本文化生活史』	国史講習会	PY
1	1922	T11	*	森本厚吉	『生存より生活へ』	文化生活研究会	NP
1	1922	T11	#	森本厚吉	『新生活研究』	文化生活研究会	NP
1	1922	T11	#	石沢吉磨	『生活改善を基調とせる科学的家事精説』	広文堂	NPY
2	1922	T11		内務省社会局	『大正拾年施行細民調査統計表』		NPY
1	1923	T12		石沢吉磨	『文化中心家事新教授法』	教育研究会, 集成堂	NP
1	1924	T13		生活改善同盟会	『生活改善の栞』	生活改善同盟会	PY
1	1924	T13		甲斐久子	『生活改善系統的家政講話』	平凡社	NY
2	1924	T13		森本厚吉	『減びゆく階級』	同文館	NP
2	1924	T13		農商務省農務局	『農家経済調査』	農商務省農務局	APY
4	1924	T13		西沢勇志智	『主婦への化学』	共立社	ANPY
4	1924	T13		山本正三編	『実用家庭科学』	実業之日本社	PY
1	1925	T14		片岡重助	『生活向上を基調としての田園家政学研究』	教佑社	NP
2	1925	T14		河口愛子	『廃品利用の家事』	明治図書株式会社	NPY
2	1925	T14		松平友子	『家事経済学 家庭生活の経済的研究』	文書堂	NY
3	1925	T14		大江スミ子	『家事实習案内』	文光社	PY
4	1925	T14		近藤耕蔵	『家庭物理学12講』	生活文化研究会	PY
4	1925	T14		鈴木京平	『家庭に於ける実用科学』	都新聞社出版部	NP
4	1925	T14		石沢吉磨	『学習指導家事实験法』	目黒書店	NP
4	1925	T14	#	大阪衛生研究所内家事衛生研究会	『家事と衛生』		Y
2	1926	T15		本位田祥男	『消費組合巡礼』	日本評論社	AP
2	1926	T15	#	松平友子	『家事経済読本』	文書堂	PY
4	1926	T15		堀七蔵	『研究自在家事实験室』	中文館	NPY
1	1927	S2		家事教授研究会	『現代家事資料集成』	文光社	NPY
1	1927	S2		教化団体連合会	『家庭実務の指針』	教化団体連合会	AP
1	1928	S3		井上秀子	『大日本百科全集第22巻家庭管理法』	誠文堂	PY
1	1928	S3		山崎延吉	『斉家の栞』	泰文館	NPY
3	1928	S3		アール・ビー・ビー・ジェメリー, 隈崎渡訳	『家族の起源』	啓明社	PY
4	1928	S3		井口乗海	『家庭看護法提要』	文光社	PY
1	1929	S4	# *	井上秀子	『家政論』		NP

倉元・佐々木・水島・井上・永藤・朴木：戦前家政学関係文献一覧

メモ	引用	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	
①&1923, 出版社ナシ	0																										
①&CJ実際編,&出版社ナシ,D実務編	3		C	D						J																	
①&松山, 出版社ナシ	0																										
①&1919, 出版社ナシ	0																										
①&家庭教育と家庭改良, 出版社ナシ	0																										
①&桜友会,1917,1927, 出版社ナシ,「家政」共立女子職業学校桜友会,LNOW「家政」桜友会, ②復刻家政学叢書8	6									J	L	N	O								U	W					
①&塚ひ方, 出版社ナシ	0																										
①&1916, できる, 出版社ナシ	0																										
①J前後編, 光風館,Q1911,G日用物理講義,P1910,②前篇1917/6,後篇1920/11	4									G	J										P	Q					
①A年, 出版社ナシ	1	A																									
①&1921,『これからの生活』, 出版社ナシ	0																										
①A経済研究会,年ナシ,E1920,経済研究会,利用法	2	A								E																	
①&生計費, 出版社ナシ, キングと大日本文明協会と別々のものとされている	0																										
①&1918,1919, 出版社ナシ	0																										
①&1919,A年,&A出版社ナシ	2	A								E																	
①&1920, 出版社ナシ	0																										
①&1925, 出版社ナシ,②国史講習会編	0																										
①&生存から..., 出版社ナシ,J文化生活研究会	1										J																
①J新生活の研究,文化生活研究会	1										J																
①LNOW1923,『科学的家事精義』, 広文堂	4												L	N	O									W			
①&E『細民生計調査』,1923,&出版社ナシ,E1921,生計	1									E																	
①&家事教授法, 出版社ナシ,G文化中心家事教授法	1										G																
①&1919, 出版社ナシ	0																										
①&1922,1924,&UAQV「系統的…」,「D」生活改善…」,JLNOUW1922,JLNOW文化図書刊行会, AV年ナシ	13	A	C	D	E	G				J	L	N	O	Q							U	V	W				
①&出版社ナシ,&ウシロ行く,FV年ナシ	2					F																		V			
①&農林省経済更生部, 出版社ナシ,②大正10年度調査,S10(S8年度),S12(S10年度)	0																										
①&1920,主婦の化学, 勇志, 出版社ナシ	0																										
①&1923, 出版社ナシ	0																										
①&K XV「田園家政学研究」,&出版社ナシ,②復刻家政学叢書10	3											K											V	X			
①&1921, 廃物利用法, 出版社ナシ	0																										
①&1925,1926,AFSV年ナシ,&JLNOTUWX家事経済学,J上下,N文書堂,V…家族の経済学的研究, ②上下,復刻家政学叢書9	14	A			E	F				J	L	N	O								S	T	U	V	W	X	Y
①&出版社ナシ,&E1933,K1904,「家事実習書」,②書名不正確	2					E					K																
①&1920, 出版社ナシ,「J」家庭物理」創文社,AJ年ナシ,LNOW1920,LO光風館,T1925	8	A									J	L	N	O									T	W	Y		
①&実用家庭科学, 出版社ナシ	0																										
①&出版社ナシ,&EJLNUAWOG「家事実験法」,ELNW1925,J1939,LN目黒書店,AG年ナシ	9	A			E	G				J	L	N	O										U	W			
①G年ナシ	5	A				G				J		N											U				
①&祥夫, 出版社ナシ	1					E																					
①A年, 出版社ナシ	2	A				E																					
①&1927,1928,家事実験室, 出版社ナシ	0																										
①&家事家政教材集成,1915, 出版社ナシ,A年ナシ,E家事資料集成,②前・後編,1915『小学校 女学校家事資料集成』トノ混同アリ	1	A																									
①&中央教化団体… , 出版社ナシ,②教化資料第57輯	0																										
①&1927,1928, 出版社ナシ,&ウシロEQ1927,E家庭管理,FJLNOQUVWX家庭管理法,F年ナシ, JLNSTVX誠文堂,OSTUW1928,②復刻家政学叢書11	14				E	F				J	L	N	O	Q							S	T	U	V	W	X	Y
①&1941, 齊家之葉, 出版社ナシ	0																										
①&1914, 出版社ナシ	0																										
①&1933, 出版社ナシ	0																										
①J「家政篇」(嫁入文庫)実業之日本社	1										J																

鹿児島県立短期大学紀要 第45号 (1994)

クラス	刊行年	# *	編著者	書名	出版社	ミス
2	1929	S4	朝日新聞社	『家庭経済の改善-生活を楽にする法-』	朝日新聞社	NP
2	1930	S5	松平友子	『家事経済綱要』	文書堂	PY
2	1930	S5	上野陽一	『家庭経済の秘訣 安く楽に暮す法』	千倉書房	NP
3	1930	S5	P.ミューラー著,不破祐俊,板橋倫行共訳	『婚姻, 家族及び親族の諸形式』	内外出版	NPY
1	1931	S6	石沢吉磨	『高等教育家事原論』	東洋図書	NP
2	1931	S6	被服協会	『家庭経済と被服』	被服協会	PY
2	1931	S6	同潤会編	『共同住宅居住者生活調査』	同潤会	PY
3	1931	S6	角田幸吉	『家族法論=家を中心として』	角田隆代	NP
4	1931	S6	藤原九十郎	『家事衛生要義』	文光社	PY
1	1932	S7	下中弥之助	『大百科事典5カテゴリー』	平凡社	N
2	1932	S7	井上秀子	『家庭経済提要』	文光社	NP
4	1932	S7	桑野久任	『育児講話』	目黒書店	PY
1	1933	S8	越智キヨ	『家事新講』	星野書店	PY
2	1933	S8	上田貞次郎編	『日本人口問題研究』第1輯-第3輯	協調会	NP
2	1933	S8	農林省経済更生部	『農家経済調査』	農林省経済更生部	PY
4	1933	S8	# 紺戸廉平	『新育児法綱要』	文光社	PY
3	1934	S9	戸田貞三	『家族と婚姻』	中文館	PY
4	1934	S9	堂東伝	『家事教材の理学的研究』	培風館	NPY
2	1935	S10	杉田頼平	『家計の妙味』	杉田会計事務所出版部	PY
2	1935	S10	農林省経済更生部	『農家経済調査』	農林省経済更生部	PY
2	1936	S11	榊原平八	『標準生活の研究』	佐藤新興生活館	PY
1	1937	S12	常見育男	『最新家事教育原論』	創文社	NPY
3	1937	S12	戸田貞三	『家族構成』	弘文堂書房	PY
3	1937	S12	石川時之介	『婦人の法律』	有斐閣	PY
3	1937	S12	穂積重遠,中川善之介	『家族制度全集10巻』	河出書房	AP
4	1937	S12	石沢吉磨	『家事化学講義』	目黒書店	PY
4	1937	S12	守屋馨村	『最新家事物理化学』	創文社	NP
1	1938	S13	上野陽一	『能率概論』	同文館	PY
1	1938	S13	氏家寿子	『最新家庭管理と家事経済』	創文社	NP
1	1938	S13	常見育男	『日本家事教育発達史』	創文社	PY
2	1938	S13	氏家寿子	『最新家庭管理と家事経済』	創文社	NP
1	1939	S14	島影盟	『生活の再設計=これでも生きられる=』	大東出版社	PY
2	1939	S14	農林省経済更生部	『農家経済調査報告』	農林省経済更生部	PY
2	1940	S15	農林省経済更生部	『農家経済調査報告』	農林省経済更生部	PY
4	1940	S15	阿武喜美子	『家事理化学』	光生館	PY
1	1941	S16	額田豊	『安価生活入門』	家庭医学社	PY
1	1941	S16	遠藤元男	『日本女性の生活と文化』	四海書房	NP
2	1941	S16	大河内一男	『社会政策の基本問題』	日本評論社	PY
3	1941	S16	橋浦泰雄	『日本民俗学上より見たる我国家族制度の研究』	日本法理研究会	NP
1	1942	S17	和田伝,大政翼賛会文化部編	『婦人が推進する町:静岡県磐田郡』	翼賛国書刊行会	NP
1	1942	S17	本多静六	『決戦下の生活法』	主婦之友社	AP
3	1942	S17	中川善之助	『随想家』	河出書房	NP
3	1942	S17	戸田貞三	『家の道 文部省戦時家庭教育指導事項解説』	中文館	NP
2	1943	S18	氏家寿子	『最新家庭管理』	創文社	PY
2	1943	S18	暉峻義等編,安藤政吉,計見良宣著	『最低生活費の研究』	大阪屋号書店	PY
4	1943	S18	沼畑金四郎	『家庭燃料の科学』	光生館	NPY
4	1943	S18	* 佐藤充	『家庭物理学』	東洋図書	PY
1	1944	S19	田中秀央,山岡亮一	『クセノポーン家政論』	生活社	APY
1	1944	S19	林勇記	『戦時家政学-戦ふ日本の家政教育-』	有朋堂	NP
2	1944	S19	安藤政吉	『国民生活費の研究』	麹町酒井書店	PY

注) 「クラス」項目における数値は1「家政学, 家庭生活, 生活史」, 2「家庭経済」, 3「家庭, 家族, 婚姻」, 「#」の項に印のあるものは常見『成立史』がとりあげていない文献であることを示す。「*」の項に印のあるものは現物の確認ができていないものであることを示す。「ミス」の項目のAは編著者, 「メモ」欄の①には常見『成立史』(「&」印で示す) および家政学原論関係書(A~Yの略号で示す, 表1参照) 「引用」は常見『成立史』を除く家政学原論関係書で引用があった回数を示す。「A」~「Y」は家政学原論関係書の略号で, その文献が引用されていた場合に略号を記している。

倉元・佐々木・水島・井上・永藤・朴木：戦前家政学関係文献一覧

メモ	引用	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
①&家庭経済の改善,改造,出版社ナシ	0																									
①&1925,1930,出版社ナシ,LNOW1925文古堂,A年ナシ	6	A				E						L	N	O										W		
①&家庭経済の秘訣,出版社ナシ,V「家庭経済の秘訣」,年ナシ	1																							V		
①&1918,婚姻の諸形式,出版社ナシ	0																									
①&家事原論,出版社ナシ,U家事原論,V家事原論,年ナシ,②教科書	2																							U	V	
①&1930,出版社ナシ,②井上秀,ガントレット恒子,成田順子,八木静一郎,依田誠,小川安朗,田中たま子,上田柳子ら	0																									
①&1932,出版社ナシ,②5-11回(1936-1941),第1回-昭和5年7月1日現在-	0																									
①&家族法論,出版社ナシ	0																									
①&1933,出版社ナシ,J1933文光社,G年ナシ	1										J															
①R1932「大百科辞典」5,平凡社,T平凡社,②井上秀子述の部分もあり	2																							R	T	
①&家事,出版社ナシ	1					E																				
①&1938,出版社ナシ,J1932目黒書店,G年ナシ	2							G		J																
①&1943,出版社ナシ,LN1941改訂...,星野書店,O1941改訂...	3											L	N	O												
①&日本人口問題,出版社ナシ,②1933-1937	0																									
①&年不十分,出版社ナシ,②昭和5年度調査	0																									
①A年,出版社ナシ	1	A																								
①&1920,1934,出版社ナシ,EU1920	2					E																		U		
①&1923,家事教授,出版社ナシ	0																									
①&1933,出版社ナシ,②実践分析による経済生活の仕方	0																									
①&年不十分,出版社ナシ,②昭和8年度調査	0																									
①&1927,出版社ナシ	0																									
①A年,出版社ナシ,W最近家事教育論,②復刻家政学叢書12	11	A	C	D								L	N	O							S	T	U	W	Y	
①&1934,1937,出版社ナシ	0																									
①&1942,出版社ナシ	0																									
①&河出書房著,出版社ナシ	0																									
①&1938,出版社ナシ	0																									
①&現代家事物理学及化学,家事物理学,A現代家事物理学及び化学,年ナシ	1	A																								
①&出版社ナシ,&U1943	1																							U		
①&出版社ナシ,&W家庭管理と家事経済,F1937,JL創文社,L1938,A最新家庭管理,AG年ナシ	10	A				E	F	G			J	L	N	O										U	W	
①L1938創文社	6	A				E						L	N	O										U		
①&出版社ナシ,&W家庭管理と家事経済,F1937,JL創文社,L1938,A最新家庭管理,AG年ナシ	10	A				E	F	G			J	L	N	O										U	W	
①&1937,出版社ナシ,②有馬頼寧推薦序	0																									
①&年不十分,出版社ナシ,②昭和11年度調査,『農家経済調査』を改題	0																									
①&1944,出版社ナシ,②自昭和13年3月至昭和14年2月,S15(S13-14調査の分)	0																									
①&1938,出版社ナシ,②アンノキミコ	0																									
①&1931,出版社ナシ	0																									
①&日本女性の生活技術,出版社ナシ	0																									
①&FUW1944,&出版社ナシ	3							F																U	W	
①&『民俗学より見たる家族制度の上下』,出版社ナシ,②上1941/4,下1941/12,日本法理叢書第10,11輯	0																									
①&推進した,出版社ナシ,②大政翼賛会文化部編	0																									
①&本田,出版社ナシ	1					E																				
①&家,出版社ナシ	0																									
①&家の道,出版社ナシ,②近代女性文献資料叢書11	0																									
①&1942,1943,出版社ナシ,S1942	1																							S		
①&1942,出版社ナシ,②労働科学叢書第2冊,安藤政吉「都市労働者の最低生活費」,計見良宣「農家最低生活費」	1					E																				
①&1938,家庭燃料の化学,出版社ナシ	0																									
①&1938,出版社ナシ,②上下裁縫篇,家事篇	0																									
①&出版社ナシ,&OU1942,英史,J「家政論」英史,生活社,LN1942英史,生活社	5										J	L	N	O										U		
①&戦時家政学,出版社ナシ,L有朋堂,②近代女性文献資料叢書22	4											L	N	O											Y	
①&1943,出版社ナシ,②家政学生活学研究基礎文献集5	0																									

4「家庭科学」である。

Nは書名, Pは出版社, Yは刊行年にそれぞれ不十分な記載や誤りがあったことを示す。での記載の不十分, 誤りなどを, ②には文献に関して参考となる書誌事項を記している。